

# 令和4年度児童センター施設評価(施設)

評価日 令和5年3月20日

## 事業名 湧別児童センター

【評価方法】 十分理解できている(十分できている)=○ 理解している(できている)=▲ 努力が必要=×

### I-1 理念・基本方針

○	▲	×
---	---	---

#### I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。

Q1	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。		1	
----	-------------------------	--	---	--

### I-2 経営状況の把握

#### I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。

Q2	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。		1	
Q3	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。		1	

### I-3 事業計画の策定

#### I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。

Q4	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。		1	
Q5	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。		1	

#### I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。

Q6	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。		1	
Q7	事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。			1

### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

#### I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。

Q8	児童館活動の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。		1	
Q9	評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。		1	
小計		0	8	1

## II 組織の運営管理

### II-1 管理者の責任とリーダーシップ

#### II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。

Q10	管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	1		
Q11	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	1		

#### II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。

Q12	児童館活動の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。		1	
Q13	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。		1	

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

Q14	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。			1
Q15	総合的な人事管理が行われている。		1	

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

Q16	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。		1	
-----	-----------------------------------	--	---	--

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

Q17	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。		1	
Q18	職員の研修に関する基本方針や計画が策定され、研修が実施されている。		1	
Q19	職員一人ひとりの研修の機会が確保されている。	1		

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

Q20	実習生等の児童館活動に関わる専門職等の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。			1
-----	---	--	--	---

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

Q21	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。		1	
Q22	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。		1	
小計		3	8	2

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。

Q23	利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。		1	
Q24	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	1		

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。

Q25	児童館として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。		1	
-----	---	--	---	--

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

Q26	地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。		1	
Q27	地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。		1	
小計		1	4	0

III 適切な福祉サービスの実施

III-1 利用者本位の福祉サービス

III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。

Q28	利用者を尊重した児童館活動について共通の理解をもつための取組を行っている。		1	
Q29	利用者のプライバシー保護に配慮した児童館活動が行われている。		1	

III-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

Q30	利用希望者に対して児童館を利用するために必要な情報を積極的に提供している。		1	
Q31	児童館活動の開始・変更にあたり利用者にわかりやすく説明している。	1		

III-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。

Q32	利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。		1	
-----	---------------------------------	--	---	--

III-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

Q33	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。		1	
Q34	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。		1	
Q35	利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	1		

III-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

Q36	安心・安全な児童館活動の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。		1	
Q37	感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。		1	
Q38	災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。		1	
小計		2	9	0

III-2 福祉サービスの質の確保

III-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。

Q39	児童館活動について標準的な実施方法が文書化され活動が提供されている。		1	
Q40	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。		1	

III-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

Q41	個々に支援が必要な利用者に対する個別の援助計画を適切に策定している。		1	
Q42	定期的に個別の援助計画の評価・見直しを行っている。			1

III-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

Q43	児童館活動の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	1		
Q44	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	1		

	小計	2	3	1
--	----	---	---	---

	合計	8	32	4
--	----	---	----	---

特記事項

- ・事業計画が利用者に周知されていないため 次年度に向けて公表の手段を考えていく。
- ・必要な人材の確保がなされていない。十分なサービスを展開する上でも人材の確保は必要。
- ・実習生の受け入れの事例がないが、希望があれば受け入れてもよいと思う。
- ・個別の援助計画への評価、見直しは簡単な内容になっているので、もう少し丁寧に行うべきだと思う。

利用者へ向けての様々なサービスを適切に行えているが、もう1段階上を目指す努力をしていく。